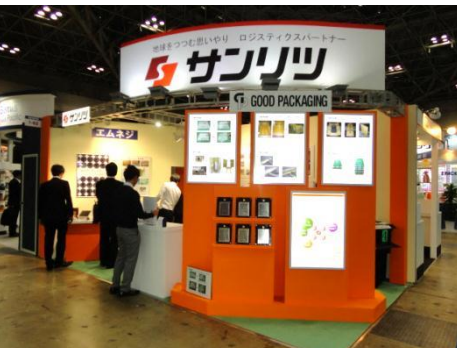


# 2018年3月期 決算説明会

地球をつつむ思いやり  
ロジスティクスパートナー サンリツ

株式会社サンリツ  
2018年6月4日

東証1部  
【証券コード：9366】



# 目次

**1. 当社の概要 P2**

**2. 2018年3月期 決算報告 P6**

**3. 中期経営計画の進捗状況 P13**

**4. 2019年3月期 決算見通し P18**

**5. Appendix P27**

# 1. 当社の概要

# 1-1.中期経営計画の概要

## ◆ビジョン(中長期的に目指す姿)

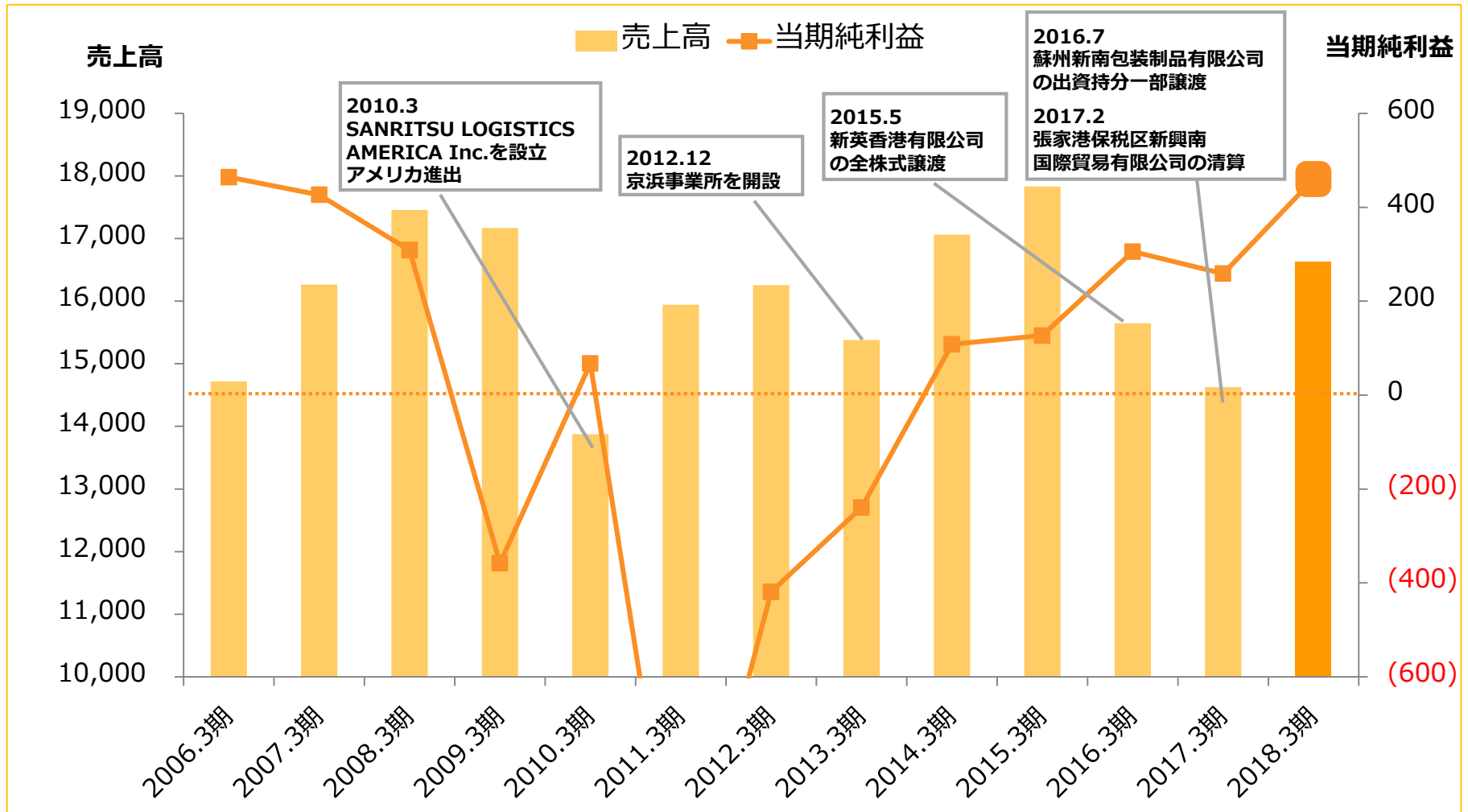
# オペレーションから ソリューションへ

## ◆経営目標

期 間	2020年3月期 最終目標	(参考) 2017.3期	伸び率
2017年4月 ~ 2020年3月	売 上 高 16,500百万円	14,626百万円	+ 12.8%
	営 業 利 益 950百万円	627百万円	+ 51.5%
<b>配当方針</b>	営業利益率 5.8%	4.3%	+ 1.5pts
30%目途	R O E 6.3%	3.7%	+ 2.6pts

# 1-2. 収益推移/収益体質改善、利益水準向上へ

(単位：百万円)



中国再編により減少傾向にあった売上高は回復安定し、利益水準は上昇傾向へ

# 1-3. 事業領域と取扱製品群別ターゲット

	庫内オペレーション ※1	保管	梱包	流通加工	通関	配車・輸送
小型精密機器	○	○	◎	○	○	△
大型精密機器	○	○	◎	○	○	△
医療機器	△⇒○	◎	○	○	—	○
工作機械	—	—	◎	—⇒○	○	○
その他	○	○	—	—	△	○

- ◎・・・強み、または経験値が高い事業領域
- ・・・取扱実績があるが、他社との差別化までいかない事業領域
- △・・・取扱実績があるが、まだ弱く、強化していきたい事業領域

※1：庫内オペレーション…倉庫内入出庫作業やその管理

## 取扱製品群別の主な特徴

- ◆ **小型精密機器／大型精密機器：**  
日系企業を中心に工場構内や近隣倉庫にて、顧客に密着した物流業務を展開
- ◆ **医療機器：**医療機器製造業の免許取得と設備の整った倉庫をベースに、外資系企業を中心に日本における国内物流をサポート
- ◆ **工作機械：**日・中・米各拠点とも大型設備を保有し梱包を実施、自社物流ライセンスで国際物流を展開

## 2. 2018年3月期 決算報告

# 2-1.2018年3月期 決算概要

～増収増益達成／新中期経営計画1年目は好調スタート～

(単位：百万円)

	2017.3期	2018.3期	予想※	前期比 増減	前期比 増減率	予想比 差異	予想比 差異率
売上高	14,626	16,623	15,600	+1,997	+13.7%	+1,023	+6.6%
売上総利益 (売上総利益率)	2,875 (19.7%)	3,120 (18.8%)	—	+244	+8.5%	—	—
営業利益 (営業利益率)	627 (4.3%)	817 (4.9%)	750 (4.8%)	+189	+30.3%	+67	+8.9%
経常利益 (経常利益率)	478 (3.3%)	711 (4.3%)	620 (4.0%)	+233	+48.8%	+91	+14.8%
親会社株主に 帰属する当期純利益 (当期純利益率)	258 (1.8%)	459 (2.8%)	380 (2.4%)	+200	+77.7%	+79	+20.9%
1株当たり 当期純利益(円)	45.03	82.31	66.16	+37.28	+82.8%	+16.15	+24.4%
1株当たり 配当(円)	16	24	22	+8	—	+2	—

※2017年11月30日公表値

## ◆売上高：増収

- ・ 制御システムの新規案件獲得が収益に大きく寄与
- ・ 業界の活況を受け工作機械の取扱いが大幅に伸長

## ◆営業利益：増益

- ・ 売上高増加の影響及び販売費及び一般管理費の増加を抑制



# 2-2.2018年3月期 取扱製品群別決算概要

(単位：百万円)

取扱製品群		2017.3期	2018.3期	構成比	予想	前期比増減	前期比増減率	予想比差異
売上高	小型精密機器	5,212	6,573	39.5%	6,230	+1,360	+26.1%	+343
	大型精密機器	3,049	3,028	18.2%	2,740	▲20	▲0.7%	+288
	医療機器	2,067	1,970	11.9%	2,100	▲96	▲4.7%	▲130
	工作機械	2,798	3,743	22.5%	3,300	+945	+33.8%	+443
	その他	1,498	1,307	7.9%	1,230	▲191	▲12.8%	+77
	合計	14,626	16,623	100.0%	15,600	+1,997	+13.7%	+1,023

## ◆小型精密機器：増収

・新規獲得した制御システム案件が堅調に推移し、取扱量増加

## ◆大型精密機器：減収

・メーカーの積極的設備投資を背景に半導体制御装置の取扱量増加も、無線通信機器の荷動きが大きく減少

## ◆工作機械：増収

・自動車及び航空機向け等の工作機械取扱量が増加

## ◆その他：減収

・中国連結子会社2社が外れたことにより減収

## 2018.3期 売上総利益率水準

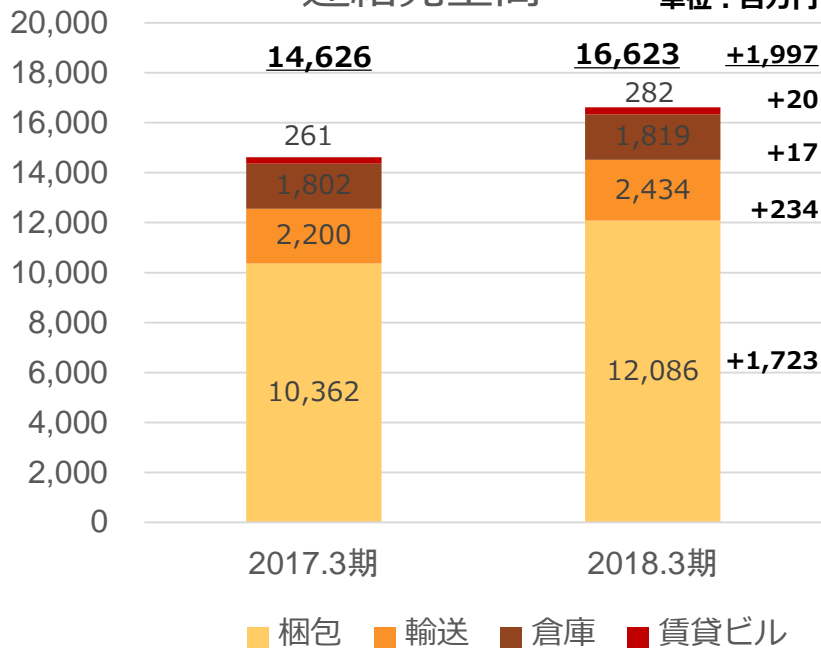
取扱製品群	売上総利益率水準
小型精密機器	—
大型精密機器	○
医療機器	—
工作機械	△
その他	○

売上総利益率が全社平均より  
 高い⇒「○」  
 同水準⇒「—」  
 低い⇒「△」

# 2-3.2018年3月期 セグメント別決算概要

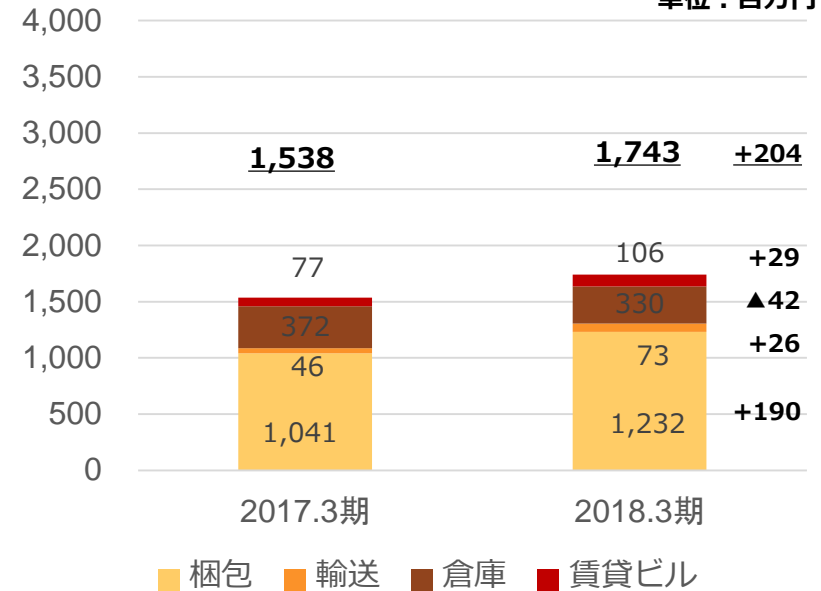
## 連結売上高

単位：百万円



## 連結セグメント利益

単位：百万円



### ◆ 梱包事業：増収増益

- ・ 国際航空貨物及び制御システム取扱いにおける新規案件が大きく寄与したほか、工作機械の取扱量が国内外共に好調に推移

### ◆ 運輸事業：増収増益

- ・ 無線通信機器の取扱量が減少したものの、医療機器及び工作機械の取扱量が増加

### ◆ 倉庫事業：増収減益

- ・ 前期発生したスポット売上がなくなったこと及び新規案件一部未達

# 2-4.2018年3月期 地域別売上高決算概要

(単位：百万円)

	2017.3期	2018.3期	構成比	予想	前期比 増減	前期比 増減率	予想比 差異
日 本	13,963	15,763	94.8%	14,750	+1,800	+12.9%	+1,013
中 国	237	146	0.9%	140	▲91	▲38.4%	+6
米 国	426	714	4.3%	710	+287	+67.5%	+4
合 計	14,626	16,623	100.0%	15,600	+1,997	+13.7%	+1,023

## ◆日本：増収

- ・大幅に増収

## ◆中国：減収

- ・上海地区子会社はスポット受注案件及び工作機械が好調に推移したが、前期に整理した華東地区の子会社2社が連結対象から外れたことにより減収

## ◆米国：増収

- ・工作機械が引続き好調により増収

## 2-5.連結貸借対照表

(単位：百万円)

資産の部	2017.3期	2018.3期	前期比 増減	負債 純資産の部	2017.3期	2018.3期	前期比 増減
流動資産	4,863	5,858	+995	流動負債	3,700	4,489	+789
有形固定資産	12,098	11,816	▲282	固定負債	7,993	7,423	▲569
無形固定資産	105	75	▲29	負債合計	11,693	11,913	+220
投資その他の資産	1,757	1,803	+45	純資産合計	7,130	7,640	+510
固定資産合計	13,960	13,695	▲265				
資産合計	18,823	19,554	+730	負債・純資産合計	18,823	19,554	+730

◆取引増加に伴い流動資産／流動負債が増加

◆設備投資額 総額3億80百万円

自動ロボット制御ピッキングシステム (AutoStore) 2億26百万円 (投資総額6億)

◆減価償却費 6億91百万円

## 2-6.連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	2017.3期	2018.3期	主な要因
期首残高	2,384	1,424	
期中増減額	▲960	+233	
営業活動によるキャッシュフロー	+669	+1,152	税金等調整前当期純利益や減価償却費による資金の留保等によりプラス
投資活動によるキャッシュフロー	▲253	▲313	固定資産の取得等による支出
財務活動によるキャッシュフロー	▲1,355	▲605	有利子負債の減少による支出によりマイナス
換算差額	▲20	+0	
期末残高	1,424	1,658	

### 3. 中期経営計画の進捗状況

## 3-1. 中期経営計画の概要

### 【国内物流事業】

#### 1. 精密機械／医療機器

- ・ ノンアセット型新拠点を開設
- ・ 「立地」×「ソリューション営業」×「庫内オペレーションの高度化」で他社と差別化

#### 2. 工作機械

- ・ 現キャパシティで既存顧客の取引深耕により収益を維持

### 【海外物流事業】

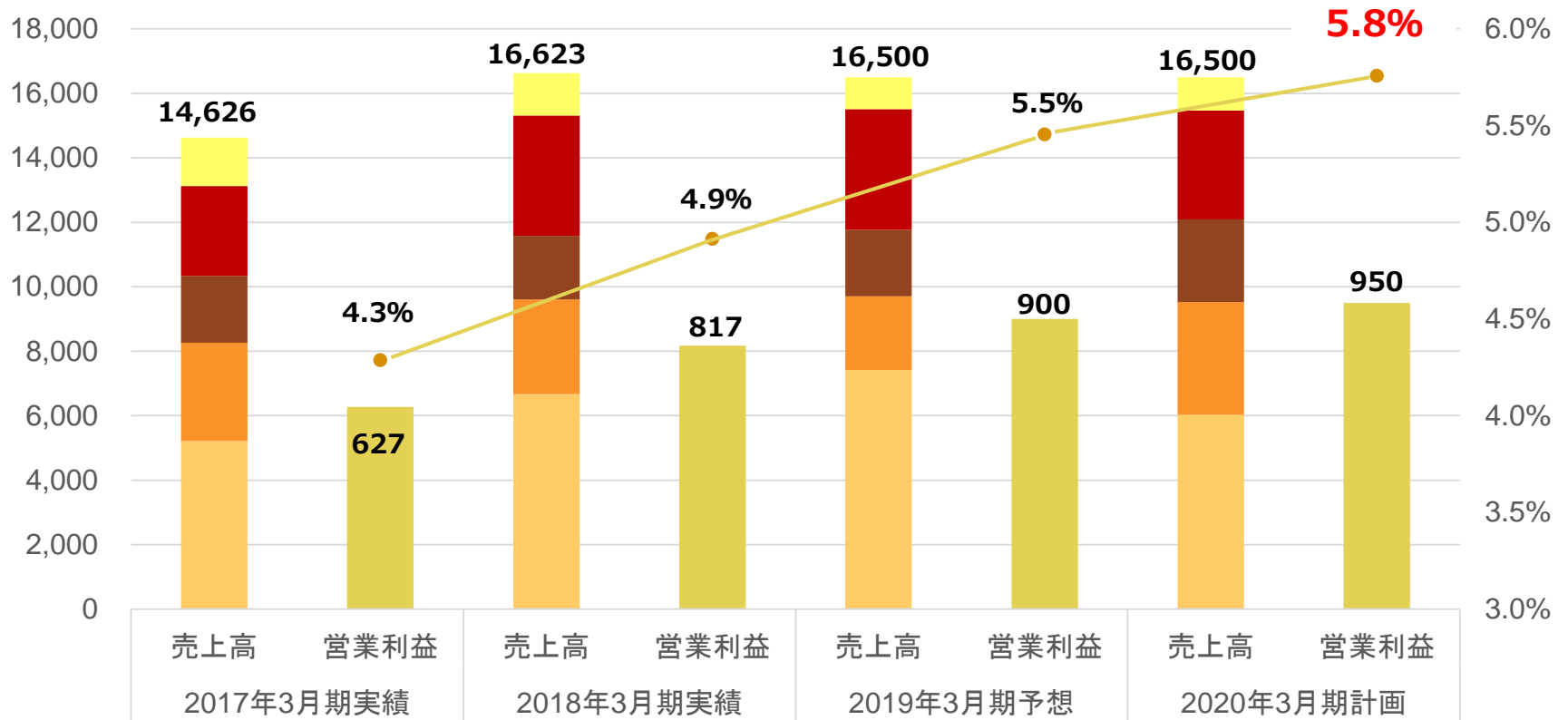
#### 1. 顧客に合わせたカスタムメイドの 国際輸送ネットワーク構築

#### 2. 当社の梱包技術で事業拡大

## 3-2. 中期経営計画の進捗状況

～ 売上目標は前倒しで実現 / 利益目標実現を目指す ～

単位：百万円



■ 小型精密機器
 ■ 大型精密機器
 ■ 医療機器
 ■ 工作機械
 ■ その他
 ● 営業利益率



## 3-3.1年目の取り組み状況

取り組み	内 容
<p><b>ノンアセット型 新拠点開設</b></p>	<p>◆2018年3月末時点 2,100坪を賃借</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・成田地区において、小型精密機器を中心とした航空貨物の取扱いを取り込み、梱包及び倉庫事業の売上に寄与</li> </ul>
<p><b>I T投資による 省力化、効率UP の実現</b></p>	<p>◆省力化・保管面積縮小を目的とした自動ロボット制御ピッキングシステム（AutoStore）の導入</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2018年4月に竣工式を実施。本格稼働に向け最終調整</li> </ul> <div data-bbox="1290 958 1787 1308" data-label="Image"> </div>

## 3-4.TOPIX

# ワールドスター賞 2年連続受賞

【Original\_packing】



【Improved\_packing】



世界包装機構 WPO(World Packaging Organization)

パッケージングコンテスト

「World Star 2018」の輸送部門にて

ワールドスター賞受賞

## 4. 2019年3月期 決算見通し

# 4-1.2019年3月期 業績予想

(単位：百万円)

	2018.3期	2019.3期 予想	前期比 増減	前期比 増減率
売上高	16,623	16,500	▲123	▲0.7%
営業利益 (営業利益率)	817 (4.9%)	900 (5.5%)	+82	+10.2%
経常利益 (経常利益率)	711 (4.3%)	810 (4.9%)	+98	+13.8%
親会社株主に 帰属する当期純利益 (当期純利益率)	459 (2.8%)	480 (2.9%)	+20	+4.5%
ROE (自己資本利益率)	6.3%	6.3%	+0.0pts	—
1株当たり 当期純利益(円)	82.31	85.99	+3.68	+4.5%
1株当たり 配当(円)	24	25	+1	—

## ◆収益：減収増益の見通し

堅調な小型精密機器群の取扱量を伸ばすと同時に、低採算案件の絞り込みと注力分野への強化を推進し、**利益ある成長**を目指す

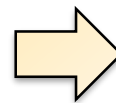
# 4-2.2019年3月期 取扱製品群別業績予想

(単位：百万円)

取扱製品群		2018.3期	2019.3期 予想	構成比	前期比 増減	前期比 増減率
売上高	小型精密機器	6,573	7,140	43.3%	+566	+8.6%
	大型精密機器	3,028	2,630	15.9%	▲398	▲13.2%
	医療機器	1,970	2,060	12.5%	+89	+4.5%
	工作機械	3,743	3,690	22.4%	▲53	▲1.4%
	その他	1,307	980	5.9%	▲327	▲25.0%
	合計	16,623	16,500	100.0%	▲123	▲0.7%

## 2018.3期 売上総利益率水準

取扱製品群	売上総利益率 水準
小型精密機器	—
大型精密機器	○
医療機器	—
工作機械	△
その他	○



売上総利益率が全社平均より  
高い⇒「○」  
同水準⇒「—」  
低い⇒「△」

## 2018.3期売上総利益率水準を ベースとした2019.3期の水準

取扱製品群	売上総利益率 水準
小型精密機器	→
大型精密機器	↑
医療機器	→
工作機械	→
その他	→

## 4-3.2019年3月期 取扱製品群別業績予想

### 【小型精密機器】

◆売上高 : 増収 (前期比+566百万円 増減率+8.6%)

◆総利益率 : 前期並み

- ・制御システム取扱い顧客の潜在ニーズを掘り起こし、受注に繋げると共に電子部品の輸出案件を取り込むことで、収益性向上を目指す

### 【大型精密機器】

◆売上高 : 減収 (前期比▲398百万円 増減率▲13.2%)

◆総利益率 : 前期より向上

- ・半導体製造装置及び国際航空貨物の取扱量を伸ばすと同時に、低採算案件を絞り込むため減収及び利益率向上の見通し

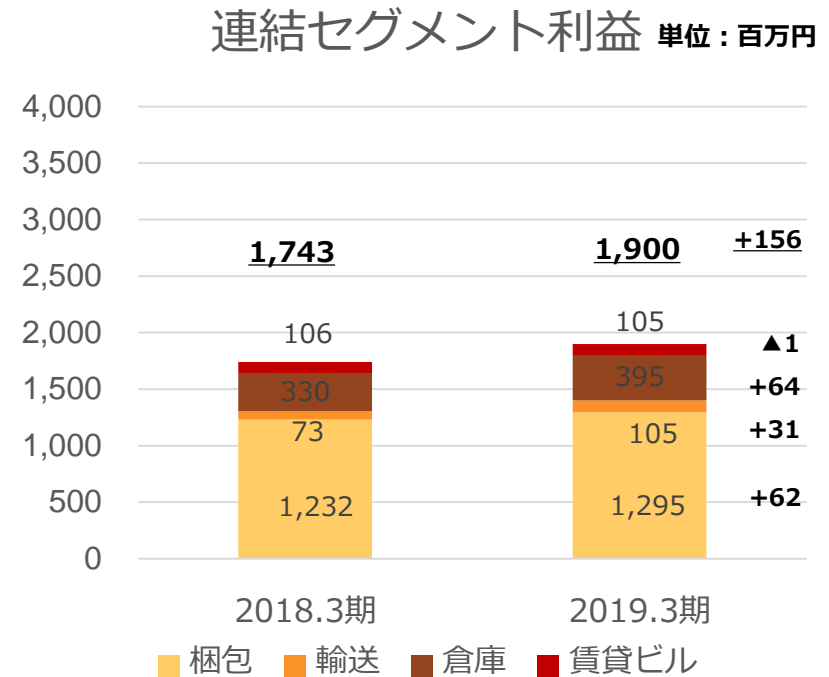
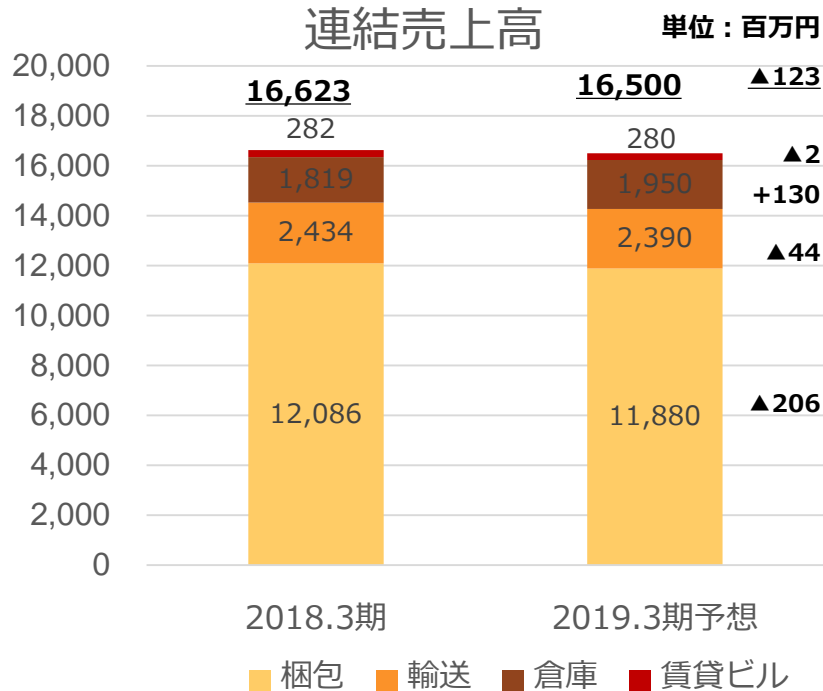
### 【医療機器】

◆売上高 : 増収 (前期比+89百万円 増減率+4.5%)

◆総利益率 : 前期並み

- ・新規顧客開拓を進めると共に、前期に導入した自社倉庫における自動ロボット制御ピッキングシステム (AutoStore) の安定稼働を進める

# 4-4.2019年3月期 セグメント別業績予想



## ◆梱包事業：減収増益

- ・制御システム及び工作機械は引続き好調に推移するものの、無線通信機器の取扱量減少により減収増益の見通し

## ◆運輸事業：減収増益

- ・制御システム案件の取扱量が増加するものの、低採算案件の絞り込みにより減収増益の見通し

## ◆倉庫事業／増収増益

- ・前期増床分の収益改善及び新規案件取り込みにより増収増益の見通し

# 4-5.2019年3月期 地域別売上高予想

(単位：百万円)

	2018.3期	2019.3期 予想	構成比	前期比 増減	前期比 増減率
日 本	15,763	15,680	95.0%	▲83	▲0.5%
中 国	146	130	0.8%	▲16	▲11.1%
米 国	714	690	4.2%	▲24	▲3.4%
合 計	16,623	16,500	100.0%	▲123	▲0.7%

為替レート 2019.3期 1ドル=107円 1人民元=17円

## ◆中国：減収

- ・2018.3期はスポット案件受注あり、前期比減収の見込み
- ・精密機器関係の新規顧客開拓に注力
- ・梱包技術を活かした国際複合一貫輸送の営業展開を図る

## ◆米国：減収

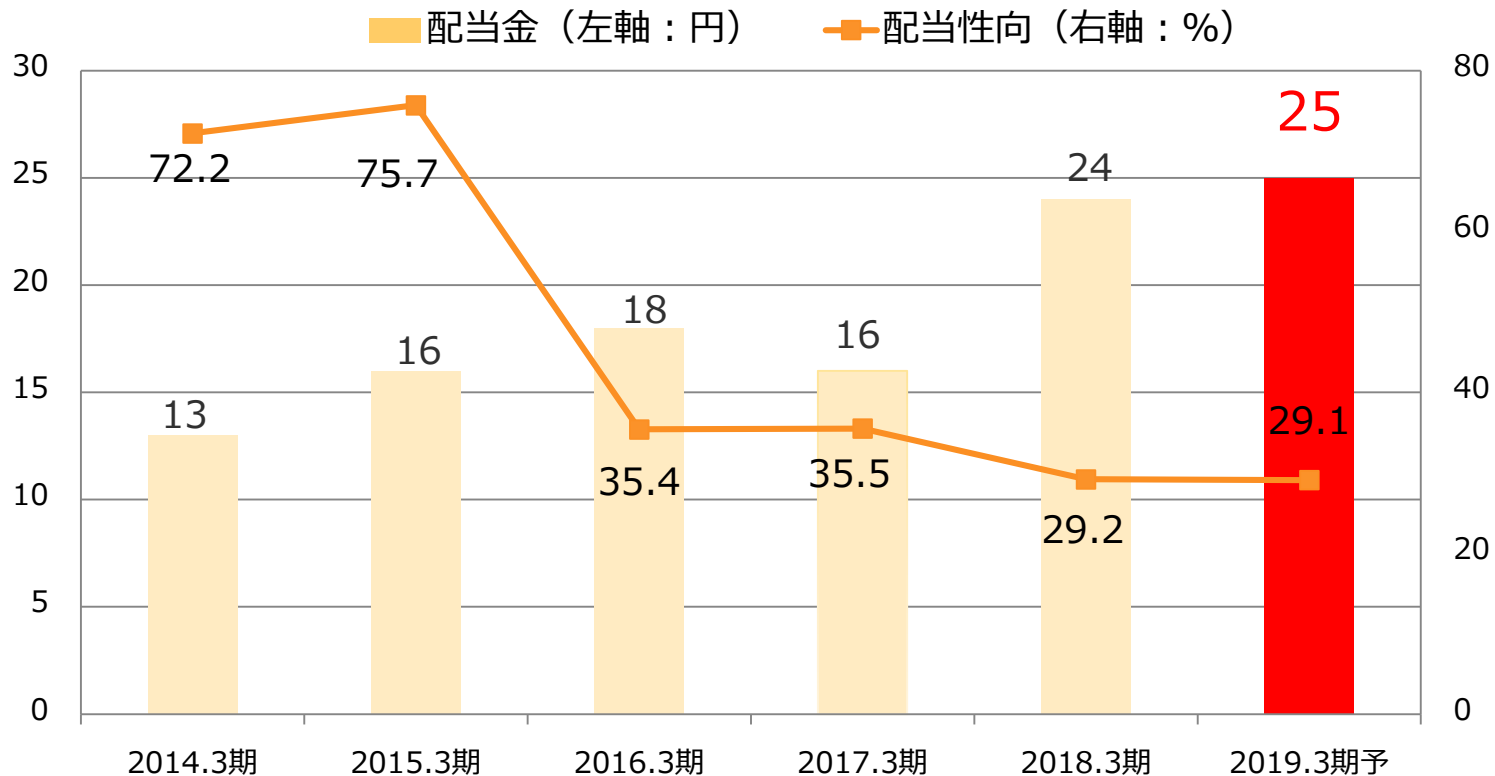
- ・2018.3期は新機種導入の特需があり、前期比減収の見込み
- ・限られた人員と設備を効率よく活用し、工作機械のスチール梱包と調達物流の取扱拡大に注力していく



## 4-6. 中期経営計画 2年目の取り組み

取り組み	内容
<b>ノンアセット型 新拠点開設</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆北関東地区 1,300坪のノンアセット拠点を設置予定               <ul style="list-style-type: none"> <li>・小型精密機器の新規顧客獲得を狙う</li> <li>※新倉庫としては 計3,400坪</li> </ul> </li> </ul>
<b>I T投資による 省力化、効率UP の実現</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆自動ロボット制御ピッキングシステム（AutoStore）の安定稼働・効果検証</li> <li>◆次の自動化実現へ向けた取り組みを開始</li> </ul>
<b>事業運営の 基盤強化</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆労働力不足への対応               <ul style="list-style-type: none"> <li>・多様な人材の確保                   <ul style="list-style-type: none"> <li>→ベトナムからの技術者研修生受け入れスタート</li> <li>→その他東南アジア諸国からの受け入れ準備</li> <li>→作業内容の労働負荷度合いを判定し、シニア労働力の積極的活用</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>◆業務改革推進               <ul style="list-style-type: none"> <li>・間接業務の効率化推進による適正な人材配置</li> </ul> </li> </ul>

# 4-7.配当について



◆連結配当性向を30%程度を基本とし検討

当期は1株あたり24円を予定

普通配当 22円/創業70周年記念配当 2円

◆2019.3期：過去最高の1株当たり25円を予定

※ 当資料に記載されている内容は、種々の前提に基づき記述したものでありますが、この記述は、将来の業績を保証するものではなく、経営環境の変化等により異なる可能性があることをご留意ください。

問い合わせ先：企画部 03-3471-0463



## 5. Appendix

## [参考]梱包事業について

### ■ 進駐軍搬入の特別仕様の梱包指名を受ける

米軍の精密機器をミル規格に則って梱包しなければならなかったが規格に則ってきちんと梱包していた為、高い評価を受け、検査官からの信用も得ていた。

### ■ 防衛庁(現防衛省)から精密機器の輸送・梱包の仕事

「防衛庁規格」=ミル規格を参考に作成された非常に厳しい規格。  
しかし、当社はこれを得意としており、防衛庁の検査官からも当社は高い評価を得ていた。

→「梱包が難しいものならサンリツに」といわれるまでに、信用されていた。

**「信用」と「高い梱包技術」が当社の財産**

# [参考]事業概要

## 梱包事業

- 小さな精密機器から超重量貨物までの梱包を多岐に渡り対応
- 製品形状や特質・送り先（国内外）・輸送状況を考え、製品の品質を保つ
- コスト的にも最善な梱包形態を提供

## 運輸事業

- 精密機器、電機通信機器、計測器、医療機器などエレクトロニクス関連の製品を中心に低コストで配送
- 協力会社のサポートによる全国配送も可能
- 引越など輸送に関わる幅広い業務を行う

## 倉庫事業

- 空調を完備した快適な環境
- 24時間フルタイム管理・警備対応
- 梱包工場としての機能を有しており、流通加工、開梱並行処理拠点として機能していることに加えて、取扱製品に応じた設備を有する

## 国際物流

- ・ 保税蔵置場に梱包工場を併設
- ・ 梱包から保税蔵置・通関そして港湾・空港への輸送にいたるまで自社で対応
- ・ NVOCC（外航利用運送事業者）として船会社からスペースを買い取ることで、目的地までの最適な輸送方法を、一貫した運用責任の下、提供する

## 3PL

- ・ 物流改革の提案を行い、物流業務を包括的に引受ける
- ・ 高度な梱包技術と包装設計を駆使し、自社内での梱包、輸配送、保管、在庫管理、保税通関、エンドユーザーまで届けている

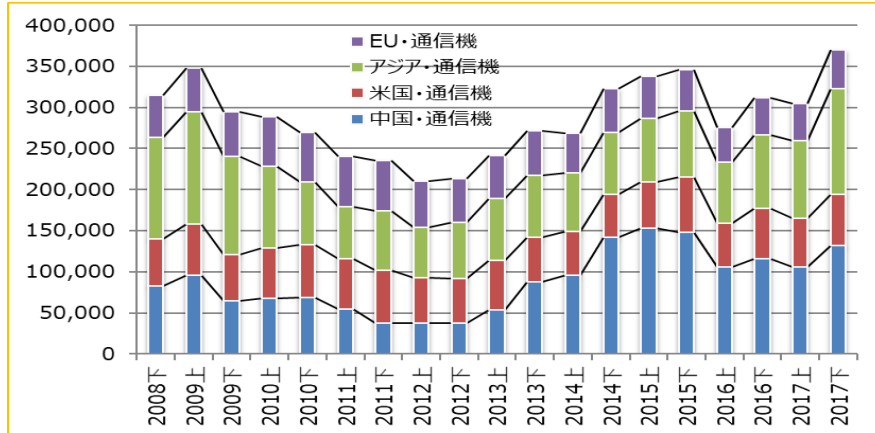
## 包装設計

- ・ 取扱製品が多岐に渡るため、様々な包装技術・技法及び材料を採用している
- ・ 地球環境保護問題に対応した包装技術・技法の改善、向上を図っている
- ・ 常に新包装技術の開発を行っている

# [参考]2019年3月期 業績予想／外部環境

## 品目別輸出金額 年別推移（通信機）

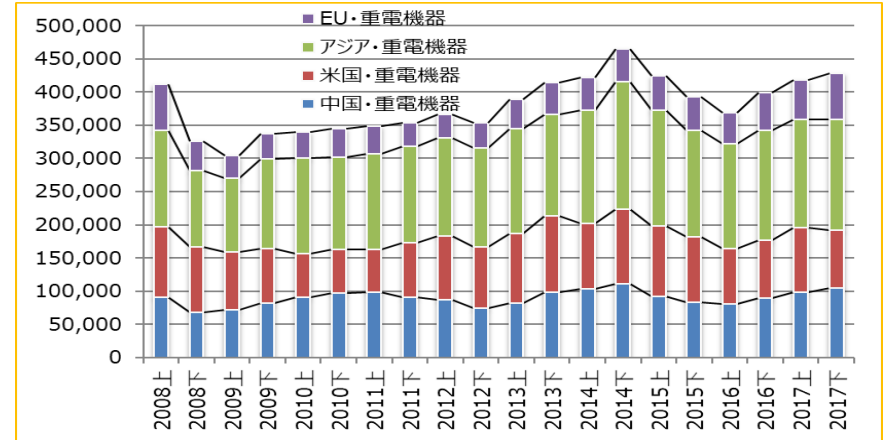
単位：百万円



※通信機…レーダー、航行用無線機器及び無線遠隔制御機器  
電話機（携帯回線網用その他の無線回線網用の電話含む）など

## 品目別輸出金額 年別推移（重電機器）

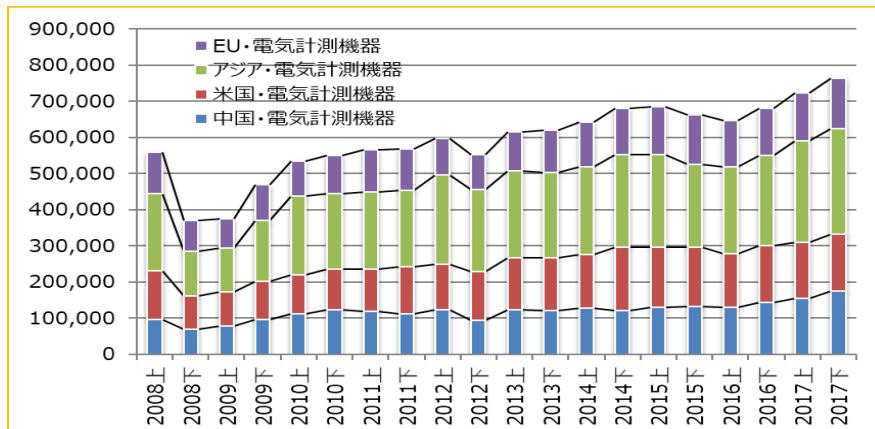
単位：百万円



※重電機器…トランスフォーマー、電動機及び発電機など

## 品目別輸出金額 年別推移（電気計測機器）

単位：百万円



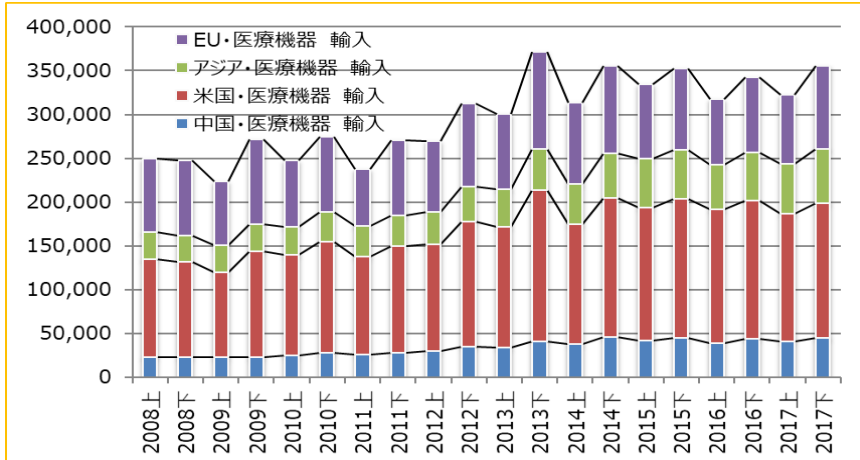
※電気計測機器…マイクロメーター、電気用計器など

- ・ 2017年は各品目とも回復傾向であった
- ・ 地政学的なリスクは懸念されるが、各品目とも引続き好調に推移すると見込む

# [参考]2019年3月期 業績予想／外部環境

## 品目別輸入金額 年別推移 (医療機器)

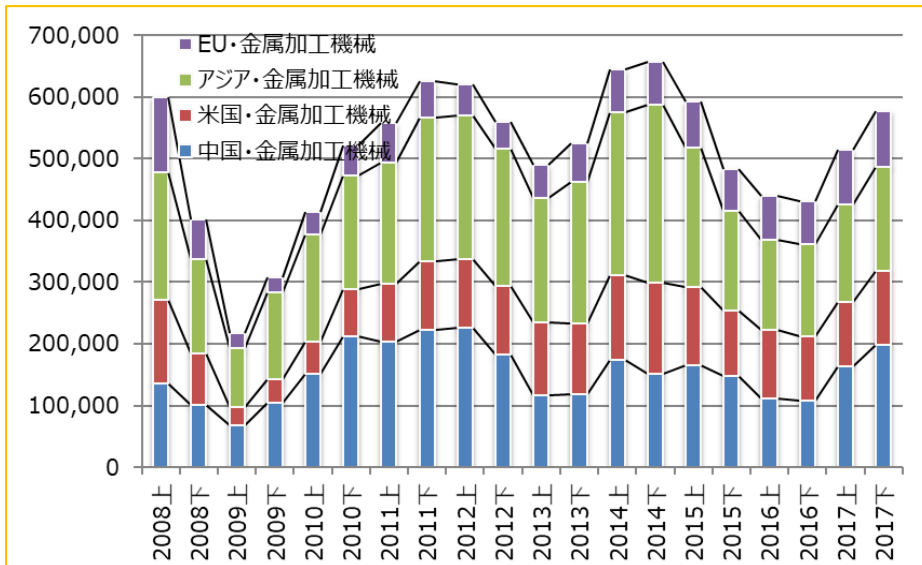
単位：百万円



- 医療の高度化や高齢化に伴い、医療機器の稼働率向上や検査需要の増加への対応に伴い国内需要は拡大
- 輸入貨物は伸び悩み傾向だが、弊社取扱いは安定的に推移するものと予想

※医療機器…医療用または獣医用機器、診断用電気機器、エックス線などを使用する機器など

## 品目別輸出金額 年別推移 (金属加工機械)



- 世界的な市場の良さに伴い、業界全体として右肩上がりの状況が続いている
- 2018年は前期並みの状況が続くと見込む

※金属加工機械…旋盤、研削盤、金属加工用のマシニングセンターなど  
その他の加工機械